

目 次

I 社会教育講座について

- | | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | 社会教育（講座）の基本的な考え方について | 1 |
| 2 | 社会教育講座の開催について | 1 |
| 3 | 本市がめざす社会教育（講座）について | 2 |
| 4 | 市民のニーズの把握について | 2 |
| 5 | 本市における課題点 | 4 |
| 6 | 充実した社会教育の実現にむけて | 4 |

その他資料 資料1～資料4



「したうら塾 竹細工教室」

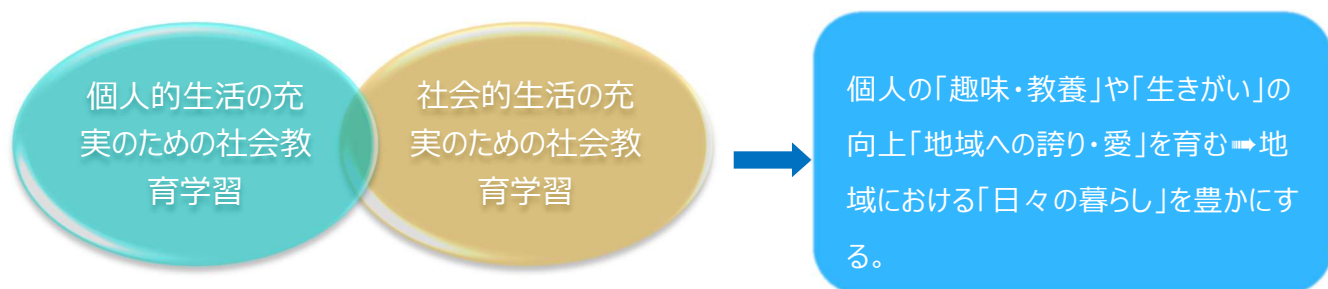


「工芸講座Ⅰ 折り紙リース」

I 社会教育講座について

1 社会教育（講座）の基本的な考え方について

市の将来像の実現を担うのは、市民一人ひとりです。まちづくりは“人づくり”であり、社会教育（講座）はその基盤となる重要な役割を担っていることから、心豊かな地域社会を築いていくために欠かすことのできないものです。市民一人ひとりが【学び】を通じて社会の変化に主体的に対応し、生涯にわたって豊かで生きがいのある生活を送る（個人的生活の充実）とともに、個々の学習やその成果が社会に活かされる「学びの循環」が地域の力となって豊かな地域づくりにつながっていくこと（社会的生活の充実）が求められます。また、本市では、「三浦らしい教育の実現」を基本理念に掲げ、主に学校教育・生涯学習の充実促進のための7つの基本目標を盛り込んだ「三浦市教育大綱」を制定しております。（別紙資料7参照）



2 社会教育講座の開催について

文化スポーツ課、初声市民センターは、市民のみなさんが様々なテーマや目的に合わせて学習できるように、数多くの主催講座を開設しています。

令和6年度社会教育講座の実施について

- (1) 文化スポーツ課では、14 の講座を実施しております。（別紙資料2－1参照）
参加人数は、定員募集 237 人に対し、265 人の参加を頂いております。
- (2) 初声市民センターでは、15 の講座を実施しております。（別紙資料2－2参照）
参加人数は、定員募集 196 人に対し、253 人の参加を頂いております。

※文化スポーツ課の地区別利用割合は、三崎地区 19.2%、南下浦地区 55.9%、初声地区 24.9%となっています。初声市民センターの地区別利用割合は、三崎地区 29.0%、南下浦地区 34.0%、初声地区 37.0%となっています。

3 本市がめざす社会教育（講座）について

本市は、豊かな自然と快適な生活環境に恵まれるとともに、海の恵みを受けて育まれた伝統文化を持っています。

この美しい自然や伝統を守り育て、次の世代へ引き継いでいくことが、必要であると考えています。このために、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて共に学び合いお互いの知恵や経験を活かし合っていくことが求められます。



料理講座Ⅱ 飾り巻き寿司

4 市民のニーズの把握について

社会教育（講座）を広く市民に普及していくためには、住民のニーズを的確に把握することが必要です。講座受講者や各種関係団体、学習サークル・グループなどから、アンケートを引き続き行っていく中で、施策や講座・イベントに対する考え方を把握していきます。

令和6年度中に行ったアンケートについて

(1) 文化スポーツ課（別紙参考資料参照）

参加者 251 人、アンケート回収数 199 枚

『講座を何で知りましたか』の回答については、一番多かったのが広報紙「三浦市民」(41.7%)、次がチラシから(21.6%)、次が知人(20.1%)となっています。また、ホームページで知ったという方が 2.9%という低い数値であり、前年度の 5.7%からは下降しており、ホームページへの関心が下がっていると捉え、掲載方法や LINE の活用等をより検討していくことが必要と考えています。講座に対する感想は、90.5%が満足という結果が出ており、一定の評価ができるものであると考えています。



「工芸講座 革細工」

子どもや親子参加の講座が、好評価を受けております。また、農業体験も好評価を受けております。今後も三浦ならではの自然をモチーフにした講座を実施していきます。また、受講者からのアンケート等による意見を参考にしながら、新たな講座に向けての検討をおこなっていきます。

(2) 初声市民センター(別紙参考資料参照)

参加者 253 人、アンケート回収数 178 枚(39 組が親子)

『講座を何で知りましたか』の回答については、一番多かったのが広報紙「三浦市民」(38.2%)、次がその他(31.5%)、知人から(12.3%)の順になっています。また、ホームページで知ったという方が2.8%という低い数値でありましたので、今後、ホームページの掲載方法等を検討していくことが必要と考えています。



講座に対する感想は、98.3%が満足という結果が出ており、こちらも文化スポーツ課同様に一定の評価ができるものであると考えています。初声市民センターでも小学
「レジンキーホルダー作り」
生とその保護者を対象にした、みちしお学級は、好評価を受けています。

歴史講座、工芸講座も好評価をいただいています。今後も工芸、料理、体操など、いろいろなジャンルの講座を実施していきます。

また、受講者からのアンケート等による意見を参考にしながら、新たな講座に向けての検討をおこなっていきます。



親子やきもの 親子で陶芸体験

5 本市における課題点



(1) 社会教育講座の魅力向上

- ①市民のニーズ、時代の要請に応じた社会教育学習の充実
- ②三浦市ならではの生涯学習活動の充実

(2) 個人的生活の充実のための講座

自己の知識、技術、経験を高め、個人的生活の充実を求めるもの

【例】スポーツ、料理、絵画、音楽などの趣味・教養講座の受講、サークル活動

(3) 社会教育講座に関する情報発信の充実

現在、施設内でのポスターの掲示、三浦市民、三浦市ホームページ等で行っている。
引き続き多くの方が目に留まるような方法を模索しながら情報発信を行う。

(4) 初声市民センターの整備・維持管理

老朽化が進む施設の計画的な維持管理を行い、市民が身近な地域における学習の場を提供し、より良い環境の整備が必要。

6 充実した社会教育の実現にむけて

市民ニーズや地域の生活課題に対応し、本市ならではの社会教育を推進するために、子どもから高齢者まで多様な市民の積極的な参加を促し、市民と行政の協働のもとで取り組んでいくことが求められます。

そのため、今後も定期的に市民や関係団体等のニーズを把握して施策・事業に反映するとともに、市民自身が主役となり行政と協力して講座の企画・運営等に取り組むための仕組みの充実を図っていきます。

令和7年度社会教育講座の実施について

(1) 文化スポーツ課(別紙資料 2-1 参照)

文化スポーツ課では、子ども将棋教室をはじめ、14 の講座を予定しております。

(2) 初声市民センター(別紙資料 2-2 参照)

初声市民センターでは、みちしお学級をはじめ、15 の講座を予定しております。



「工芸講座 ミニ門松づくり」



「工芸講座Ⅳ パッチワーク
タヒチアンキルトバッグ」